

(11)児童虐待と感ずる状況

<就学前:問44、小中学生:問35>

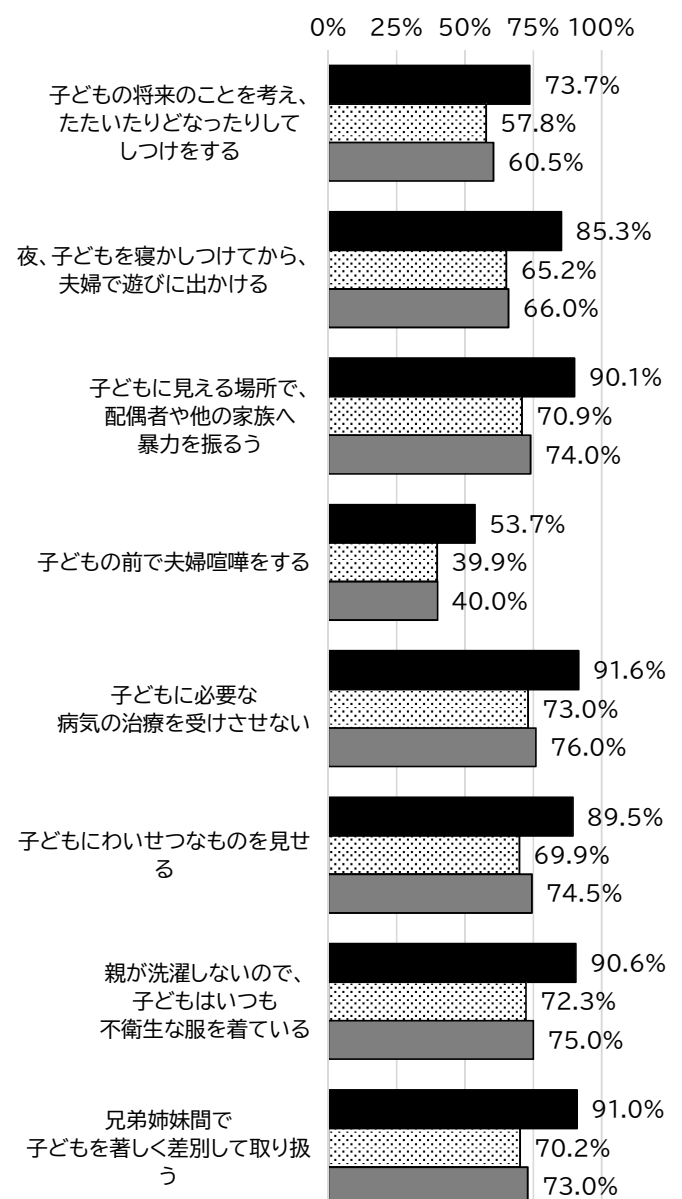
あなたが児童虐待と感ずるものはどのようなことですか。(複数回答)

就学前保護者は「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が91.6%と最も多く、次いで「兄弟姉妹間で子どもを著しく差別して取り扱う」が91.0%、「親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている」が90.6%、「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」が90.1%、「子どもにわいせつなものを見せる」が89.5%となっています。

小学生保護者は「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が73.0%と最も多く、次いで「親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている」が72.3%、「子どもに見える場所で、配偶者や他の家族へ暴力を振るう」が70.9%、「兄弟姉妹間で子どもを著しく差別して取り扱う」が70.2%、「子どもにわいせつなものを見せる」が69.9%となっています。

中学生保護者は「子どもに必要な病気の治療を受けさせない」が76.0%と最も多く、次いで「親が洗濯しないので、子どもはいつも不衛生な服を着ている」が75.0%、「子どもにわいせつなものを見せる」が74.5%、「兄弟姉妹間で子どもを著しく差別して取り扱う」が73.0%となっています。

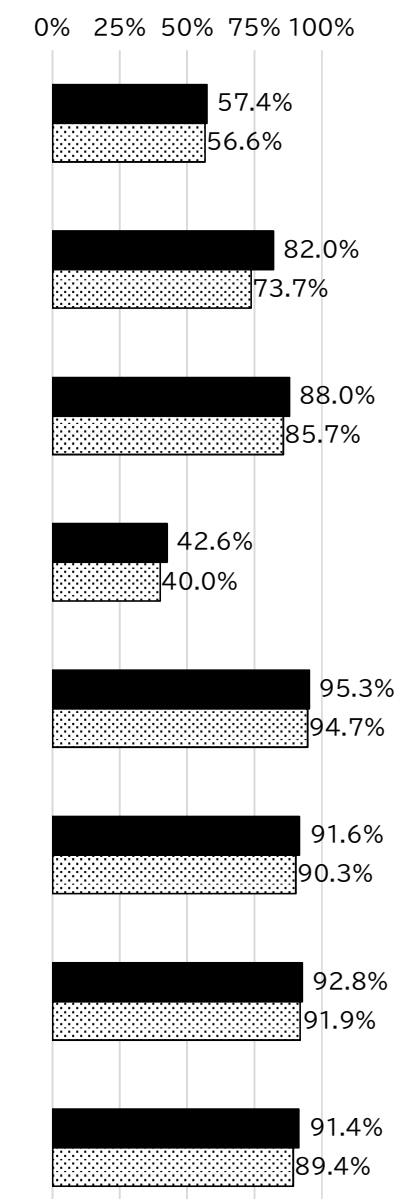
【今回調査】



■ 就学前 n=1025 ■ 小学生 n=419 ■ 中学生 n=200

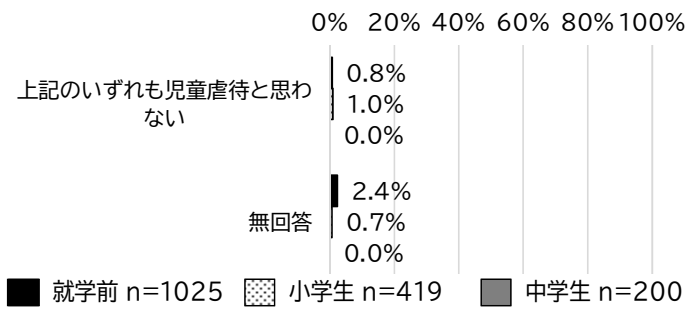
※次のページへ続く

【前回調査】

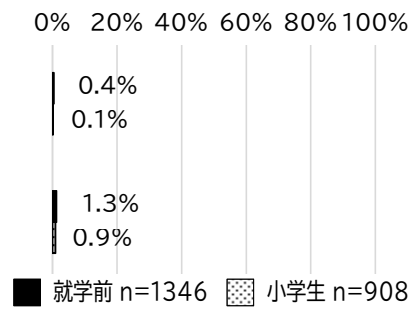


■ 就学前 n=1346 ■ 小学生 n=908

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(12) 児童虐待を相談・通報する場所

<就学前:問45、小中学生:問36>

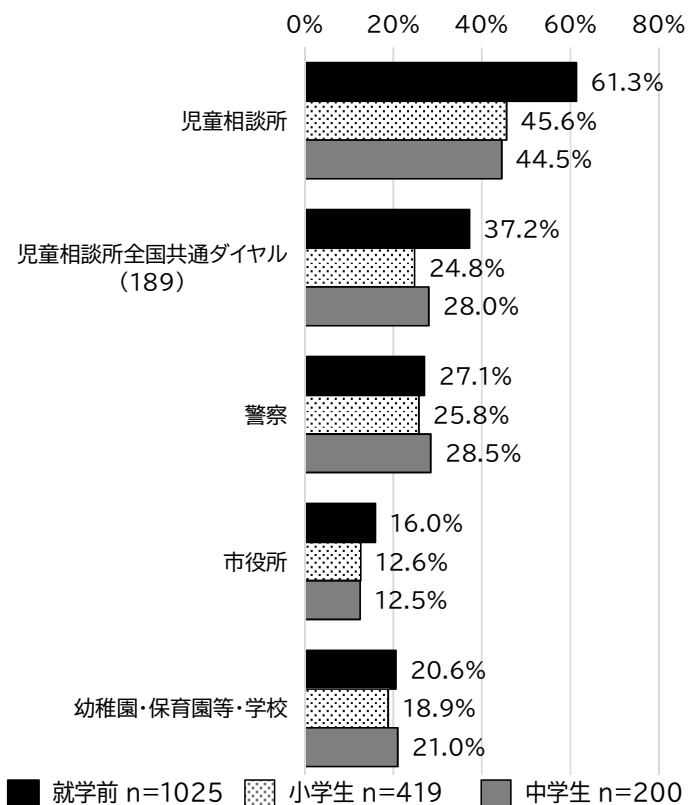
児童虐待ではないかと思うことがあった時、まず最初にどこに相談・通報しようと思いますか。(複数回答)

就学前保護者は「児童相談所」が61.3%と最も多く、次いで「児童相談所全国共通ダイヤル(189)」が37.2%、「警察」が27.1%、「幼稚園・保育園等・学校」が20.6%、「市役所」が16.0%となっています。

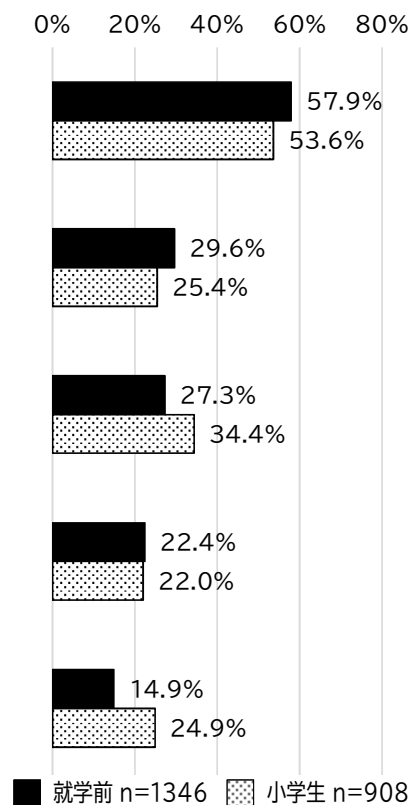
小学生保護者は「児童相談所」が45.6%と最も多く、次いで「警察」が25.8%、「児童相談所全国共通ダイヤル(189)」が24.8%、「幼稚園・保育園等・学校」が18.9%、「市役所」が12.6%となっています。

中学生保護者は「児童相談所」が44.5%と最も多く、次いで「警察」が28.5%、「児童相談所全国共通ダイヤル(189)」が28.0%、「幼稚園・保育園等・学校」が21.0%、「市役所」が12.5%となっています。

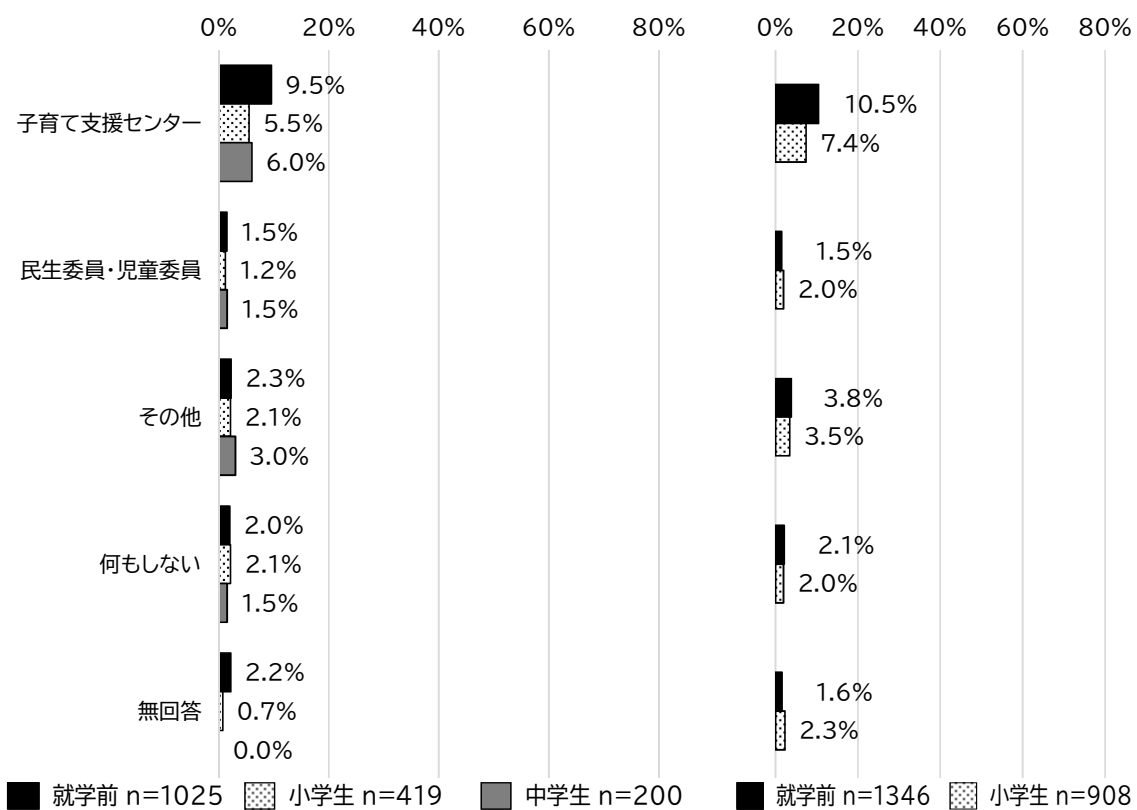
【今回調査】



【前回調査】



※次のページへ続く



※前回調査では、中学生保護者はなし

(13) 児童虐待が起こる理由

<就学前:問46、小中学生:問37>

あなたは、なぜ児童虐待が起こると思いますか。(3つまでの複数回答)

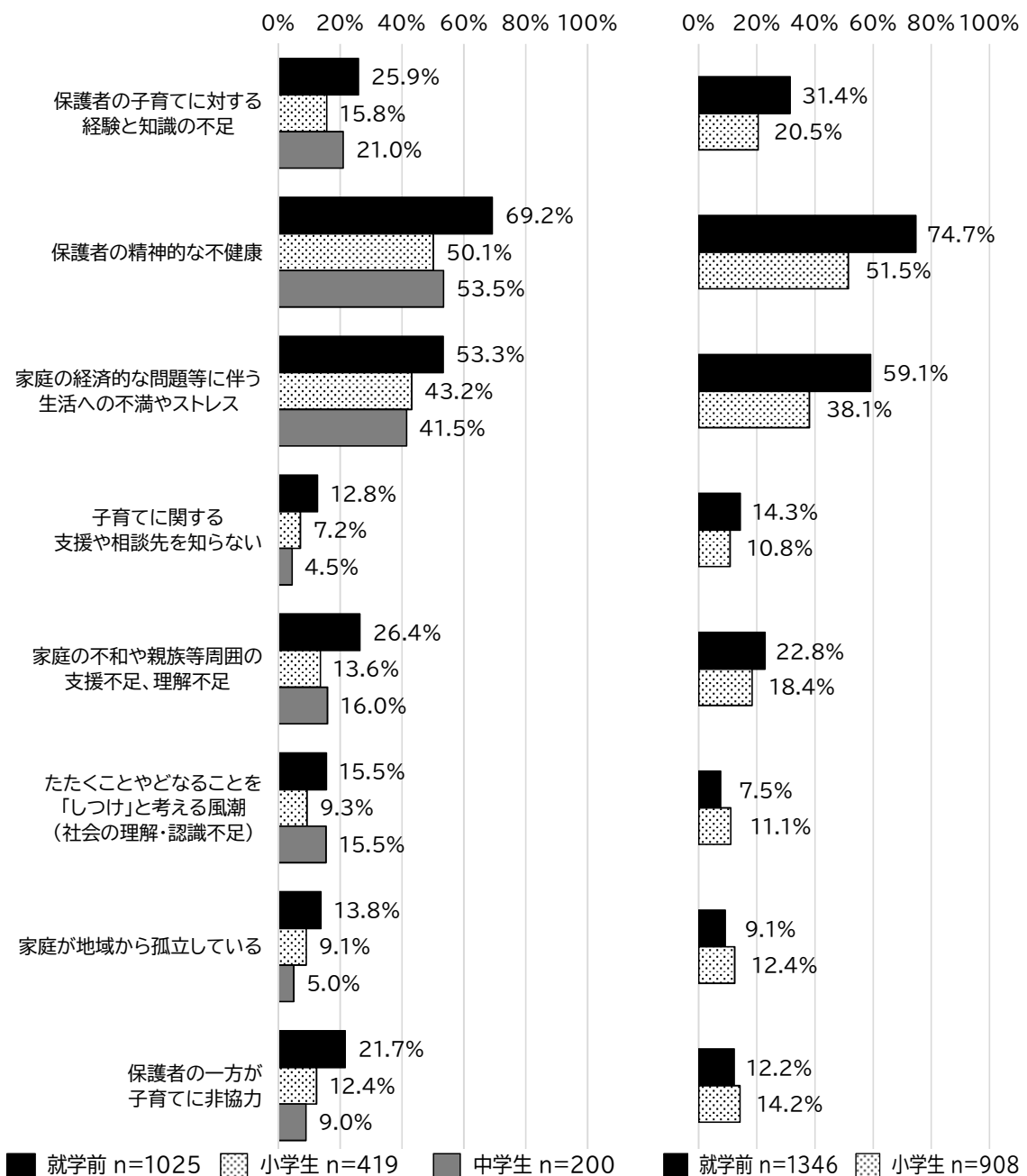
就学前保護者は「保護者の精神的な不健康」が69.2%と最も多く、次いで「家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス」が53.3%、「親自身が子どもの頃に虐待を受けていた(虐待の世代間連鎖)」が32.0%、「保護者が未熟で、親としての自覚がない」が28.9%、「家庭の不和や親族等周囲の支援不足、理解不足」が26.4%となっています。

小学生保護者は「保護者の精神的な不健康」が50.1%と最も多く、次いで「家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス」が43.2%、「保護者が未熟で、親としての自覚がない」が20.0%、「親自身が子どもの頃に虐待を受けていた(虐待の世代間連鎖)」が19.1%、「保護者の子育てに対する経験と知識の不足」が15.8%となっています。

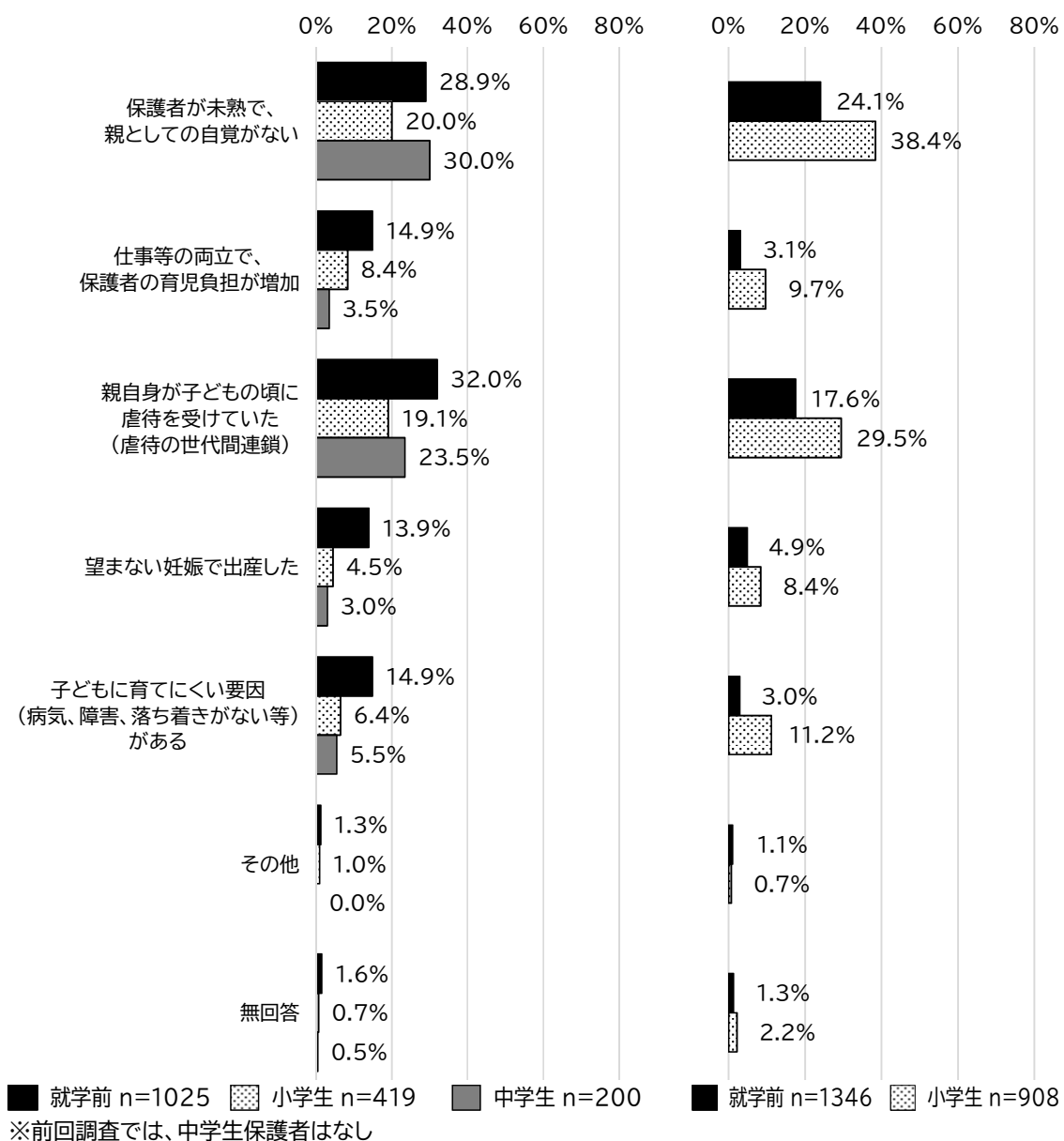
中学生保護者は「保護者の精神的な不健康」が53.5%と最も多く、次いで「家庭の経済的な問題等に伴う生活への不満やストレス」が41.5%、「保護者が未熟で、親としての自覚がない」が30.0%、「親自身が子どもの頃に虐待を受けていた(虐待の世代間連鎖)」が23.5%、「保護者の子育てに対する経験と知識の不足」が21.0%となっています。

【今回調査】

【前回調査】



※次のページへ続く



(14)子育てに関して楽しいと感じること

<就学前:問47、小中学生:問38>

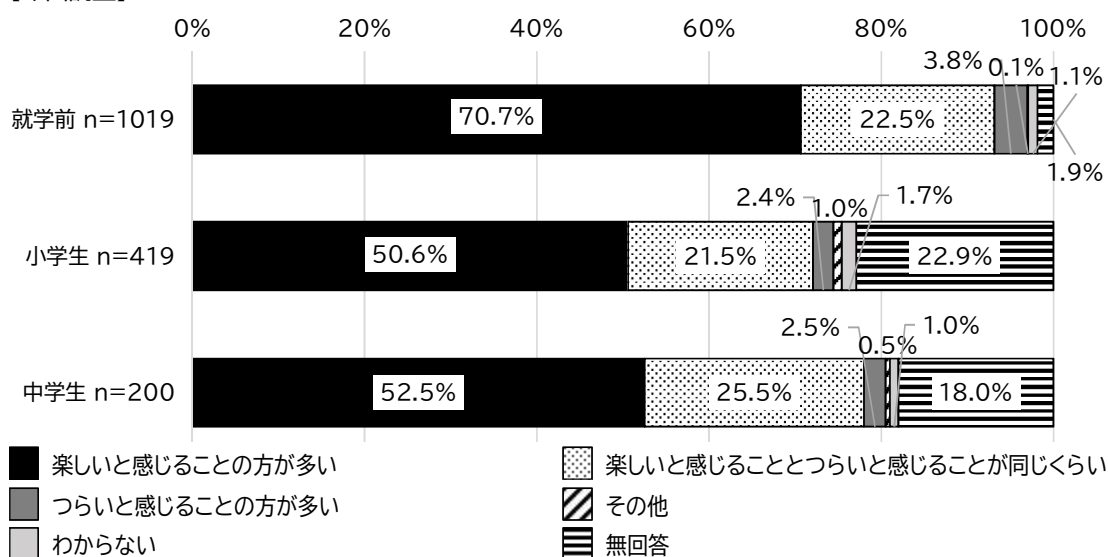
あなたは、子育てに関して楽しいと感じることが多いですか、つらいと感じることが多いですか。(単数回答)

就学前保護者は「楽しいと感じることが多い」が70.7%と最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が22.5%、「つらいと感じることが多い」が3.8%、「わからない」が1.1%、「その他」が0.1%となっています。

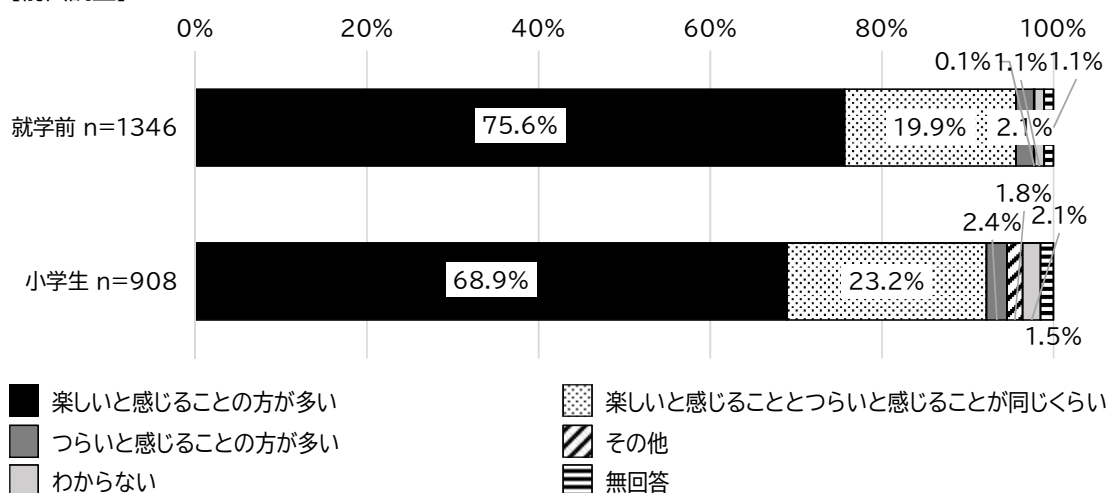
小学生保護者は「楽しいと感じることが多い」が50.6%と最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が21.5%、「つらいと感じることが多い」が2.4%、「わからない」が1.7%、「その他」が1.0%となっています。

中学生保護者は「楽しいと感じることが多い」が52.5%と最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」が25.5%、「つらいと感じることが多い」が2.5%、「わからない」が1.0%、「その他」が0.5%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(15)子育ての不安感や負担感、つらさなどを解消するために必要なこと

<就学前:問48、小中学生:問39>

子育ての不安感や負担感、つらさなどを解消するために必要なことは何ですか。(複数回答)

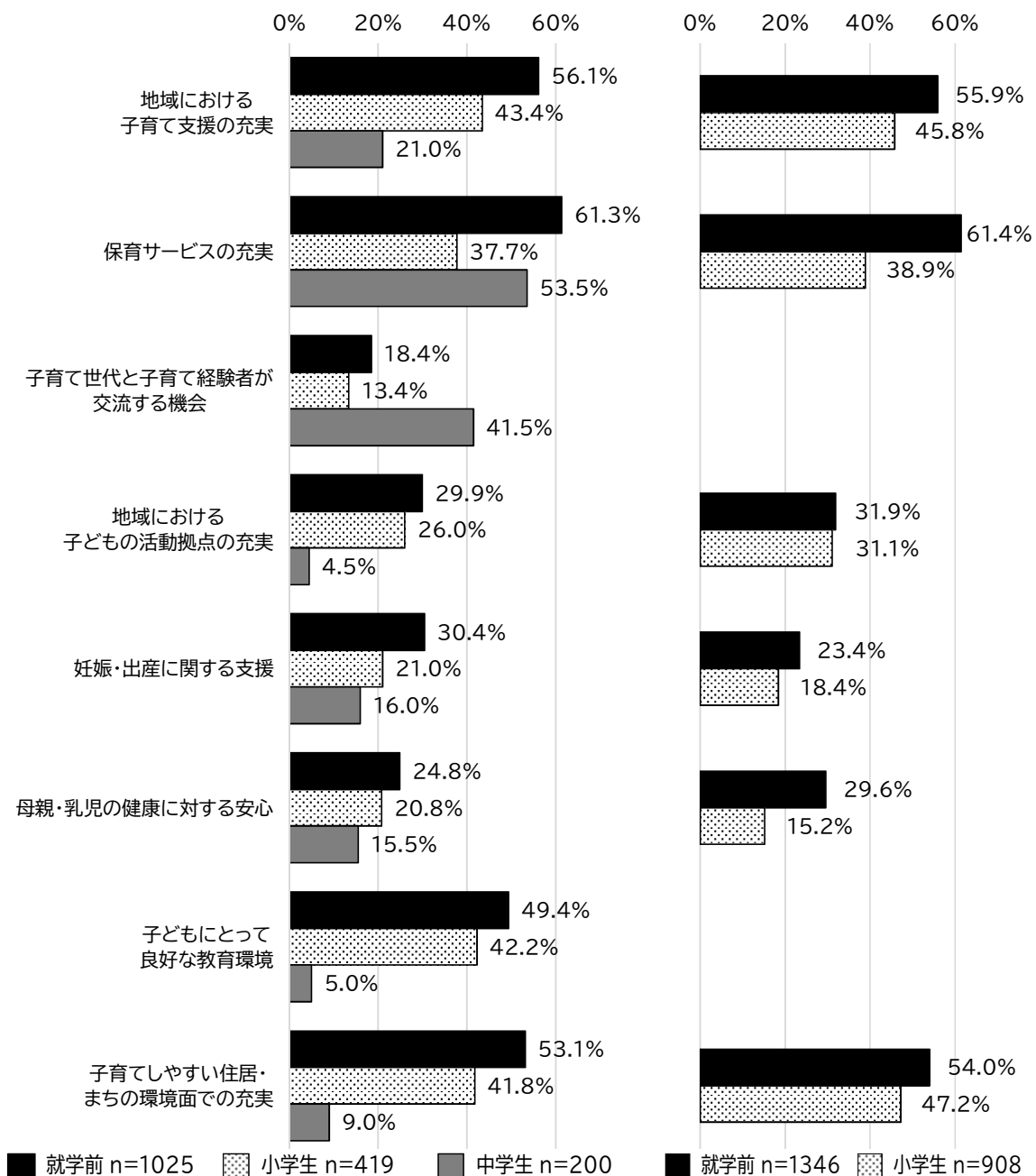
就学前保護者は「保育サービスの充実」が61.3%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活の両立支援」が60.1%、「地域における子育て支援の充実」が56.1%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が53.1%、「子どもにとって良好な教育環境」が49.4%となっています。

小学生保護者は「仕事と家庭生活の両立支援」が47.5%と最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」が43.4%、「子どもにとって良好な教育環境」が42.2%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が41.8%、「保育サービスの充実」が37.7%となっています。

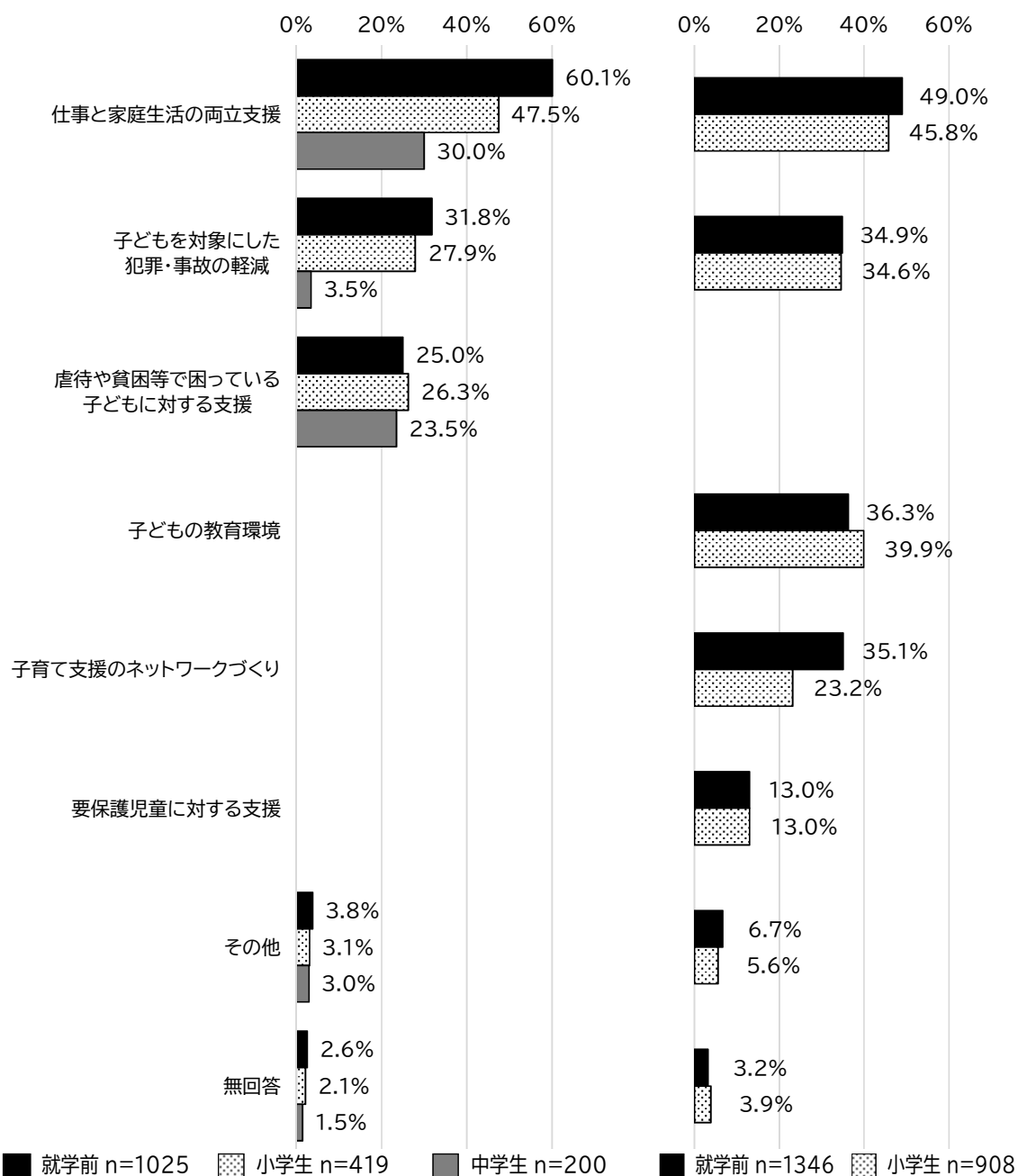
中学生保護者は「保育サービスの充実」が53.5%と最も多く、次いで「子育て世代と子育て経験者が交流する機会」が41.5%、「仕事と家庭生活の両立支援」が30.0%、「虐待や貧困等で困っている子どもに対する支援」が23.5%、「地域における子育て支援の充実」が21.0%となっています。

【今回調査】

【前回調査】



※次のページへ続く



※前回調査では、中学生保護者はなし

※前回調査では、「子育て世代と子育て経験者が交流する機会」「子どもにとって良好な教育環境」「虐待や貧困等で困っている子どもに対する支援」の選択肢なし

※今回調査では、「子どもの教育環境」「子育て支援のネットワークづくり」「要保護児童に対する支援」の選択肢なし

(16)地域・社会活動への参加状況

<就学前:問49、小中学生:問40>

下記の行事や組織に参加していますか。また、参加していないが、今後参加したいとお考えですか。(単数回答)

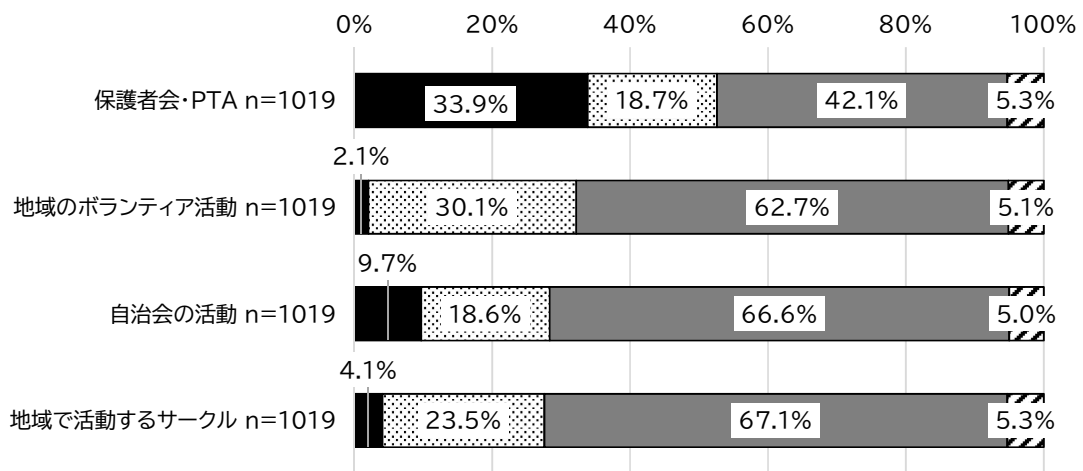
<母親>

◆就学前児童

就学前児童の母親の地域・社会活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は「保護者会・PTA」が33.9%、「自治会の活動」が9.7%、「地域で活動するサークル」が4.1%、「地域のボランティア活動」が2.1%となっている。

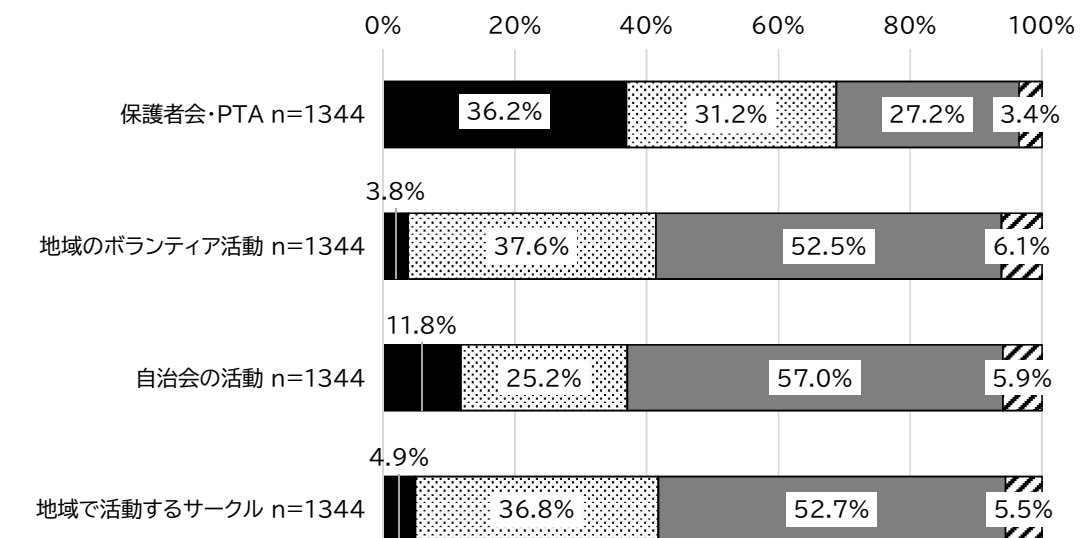
また、「今後、できれば参加したい」は「地域のボランティア活動」が30.1%で最も高く、これに「地域で活動するサークル」が23.5%で続いている。

【今回調査】



■ 現在、参加している ▨ 現在は参加していないが、今後 できれば参加したい
 ■ 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない ▩ 無回答

【前回調査】



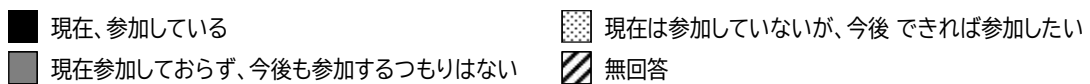
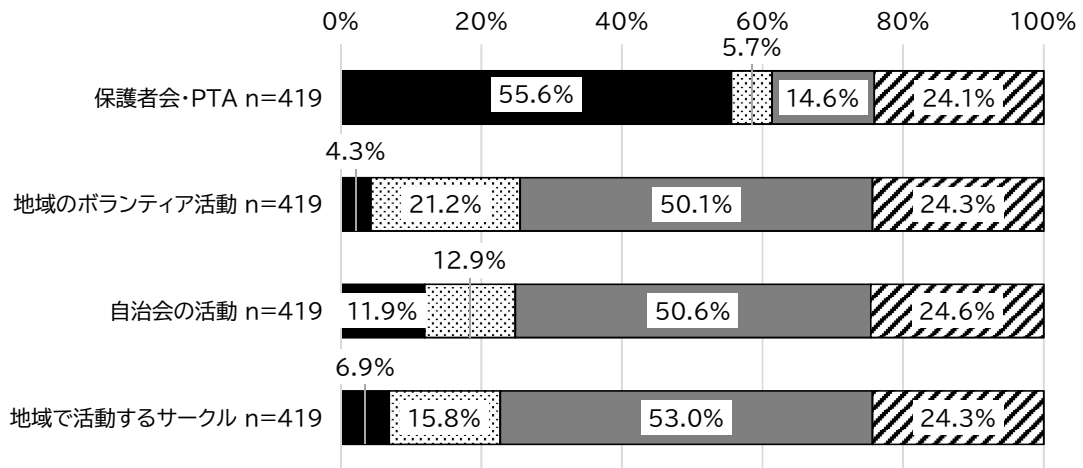
■ 現在、参加している ▨ 現在は参加していないが、今後 できれば参加したい
 ■ 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない ▩ 無回答

◆小学生保護者

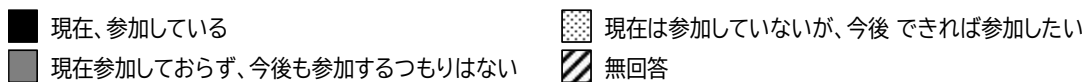
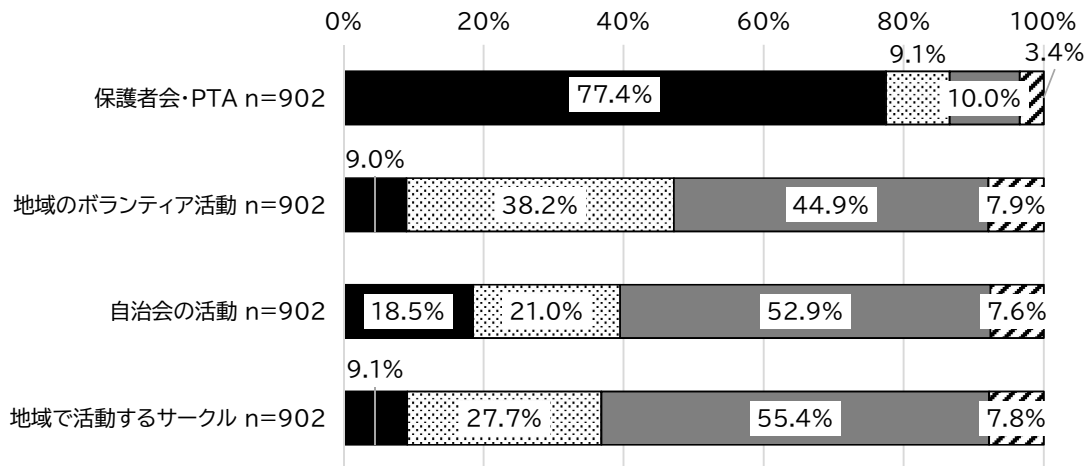
小学生児童の母親の地域・社会活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は「保護者会・PTA」が55.6%、「自治会の活動」が11.9%、「地域で活動するサークル」が6.9%、「地域のボランティア活動」が4.3%となっている。

また、「今後、できれば参加したい」は「地域のボランティア活動」が21.1%で最も高く、これに「地域で活動するサークル」が15.8%で続いている。

【今回調査】



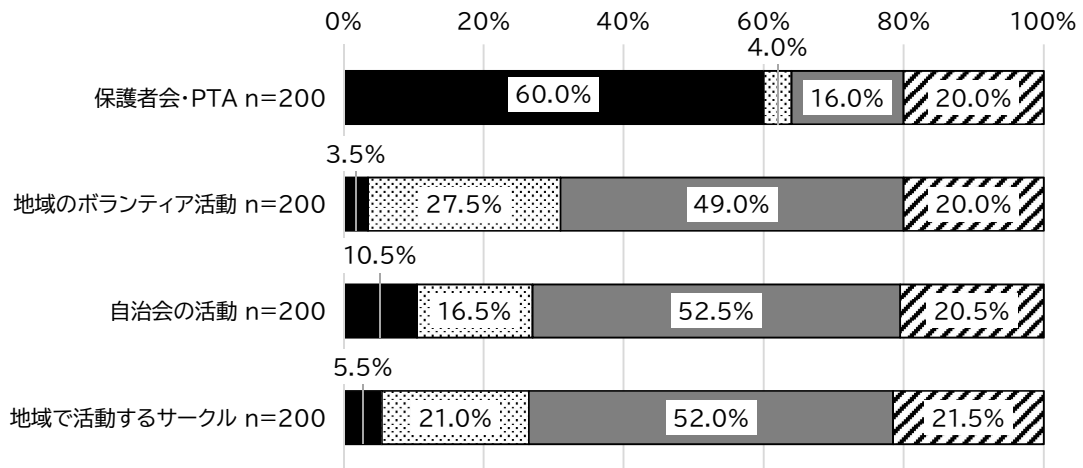
【前回調査】



◆中学生保護者

中学生の母親の地域・社会活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は「保護者会・PTA」が60.0%、「自治会の活動」が10.5%、「地域で活動するサークル」が5.5%、「地域のボランティア活動」が3.5%となっている。
また、「今後、できれば参加したい」は「地域のボランティア活動」が27.5%で最も高く、これに「地域で活動するサークル」が21.0%が続いている。

【今回調査】



■ 現在、参加している

□ 現在は参加していないが、今後 できれば参加したい

■ 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

■ 無回答

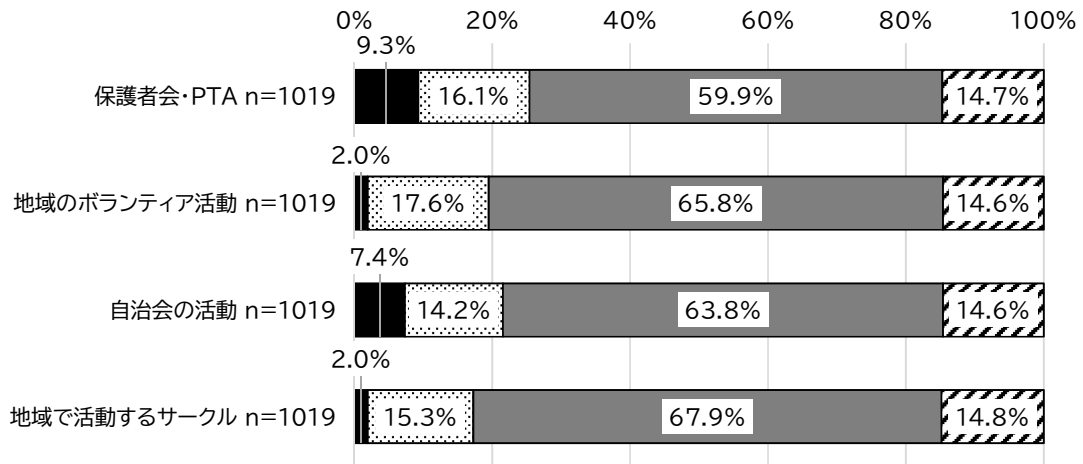
※前回調査では、中学生保護者はなし

<父親>

◆就学前児童

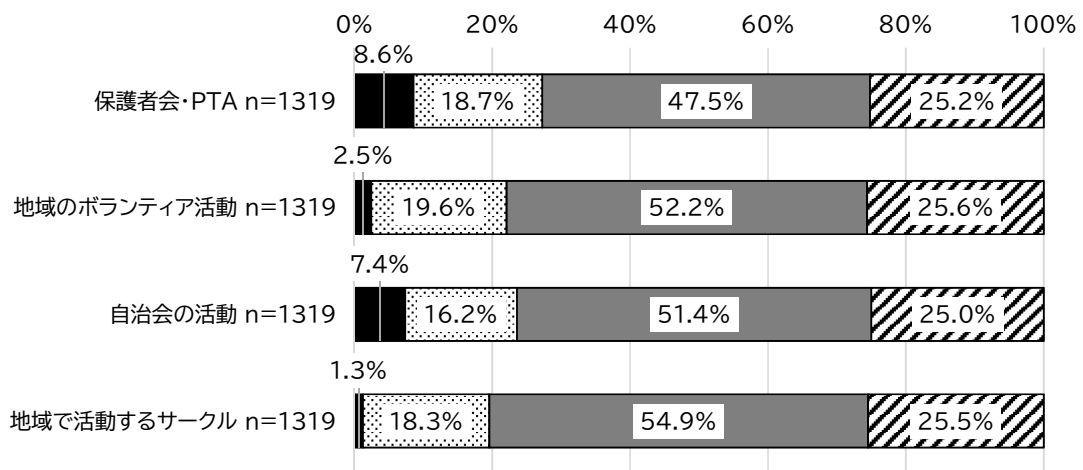
就学前児童の父親の地域・社会活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は「保護者会・PTA」が9.3%、「自治会の活動」が7.4%、「地域のボランティア活動」と「地域で活動するサークル」がともに2.0%となっている。
また、「今後、できれば参加したい」は「地域のボランティア活動」が17.6%で最も高く、これに「地域で活動するサークル」が15.3%で続いている。

【今回調査】



現在、参加している
 現在は参加していないが、今後 できれば参加したい
 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない
 無回答

【前回調査】

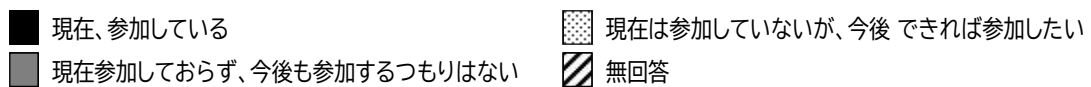
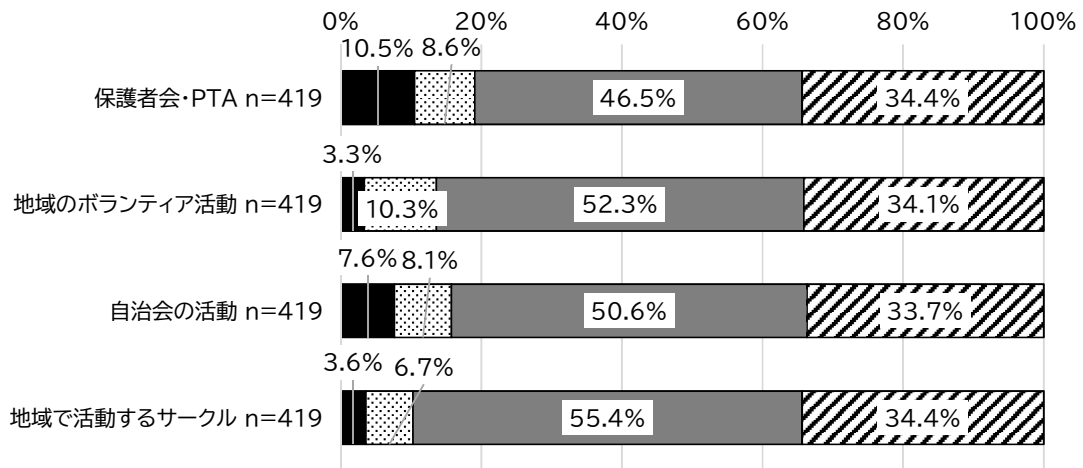


現在、参加している
 現在は参加していないが、今後 できれば参加したい
 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない
 無回答

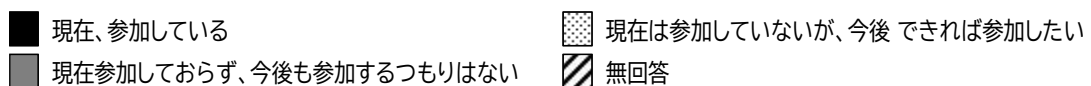
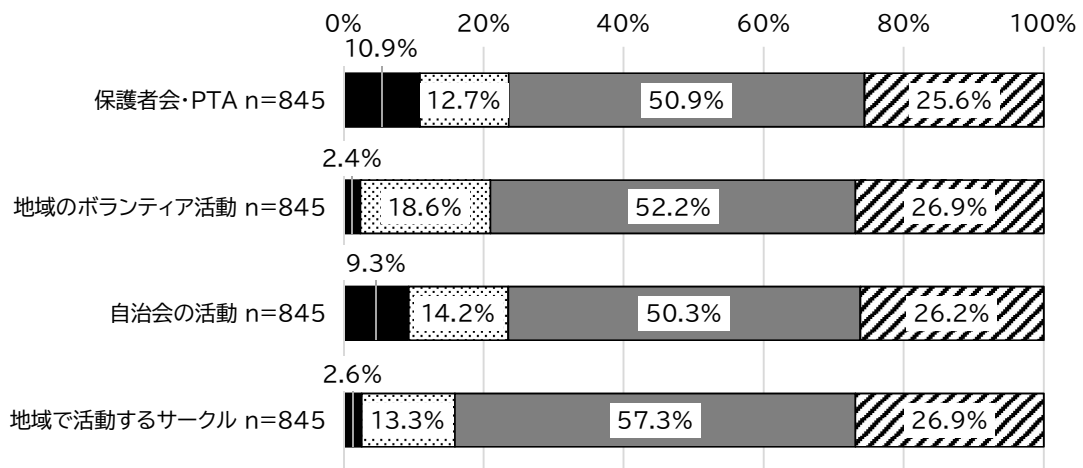
◆小学生保護者

小学生の父親の地域・社会活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は「保護者会・PTA」が10.5%、「自治会の活動」が7.6%、「地域で活動するサークル」が3.6%、「地域のボランティア活動」が3.3%となっている。
また、「今後、できれば参加したい」は「地域のボランティア活動」が10.3%で最も高く、これに「保護者会・PTA」が8.6%で続いている。

【今回調査】



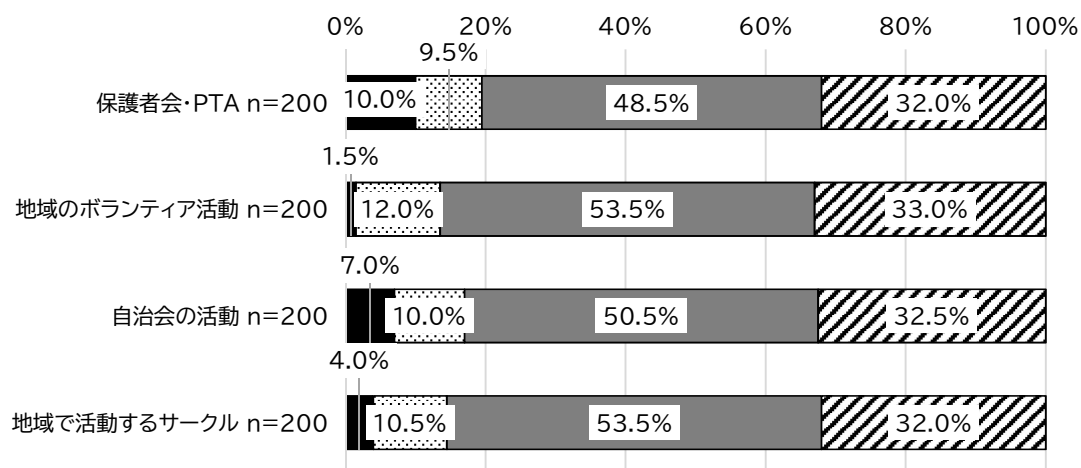
【前回調査】



◆中学生保護者

中学生の父親の地域・社会活動への参加状況をみると、「現在、参加している」は「保護者会・PTA」が10.0%、「地域のボランティア活動」が1.5%、「自治会の活動」が7.0%、「地域で活動するサークル」が4.0%となっている。
また、「今後、できれば参加したい」は「地域のボランティア活動」が12.0%で最も高く、これに「地域で活動するサークル」が10.5%で続いている。

【今回調査】



■ 現在、参加している ▨ 現在は参加していないが、今後 できれば参加したい
 ■ 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない ▩ 無回答

※前回調査では、中学生保護者はなし

(17)有効な子育て支援・対策

<就学前:問50、小中学生:問41>

朝霞市においては、どのような子育て支援・対策が有効と感じていますか。(複数回答)

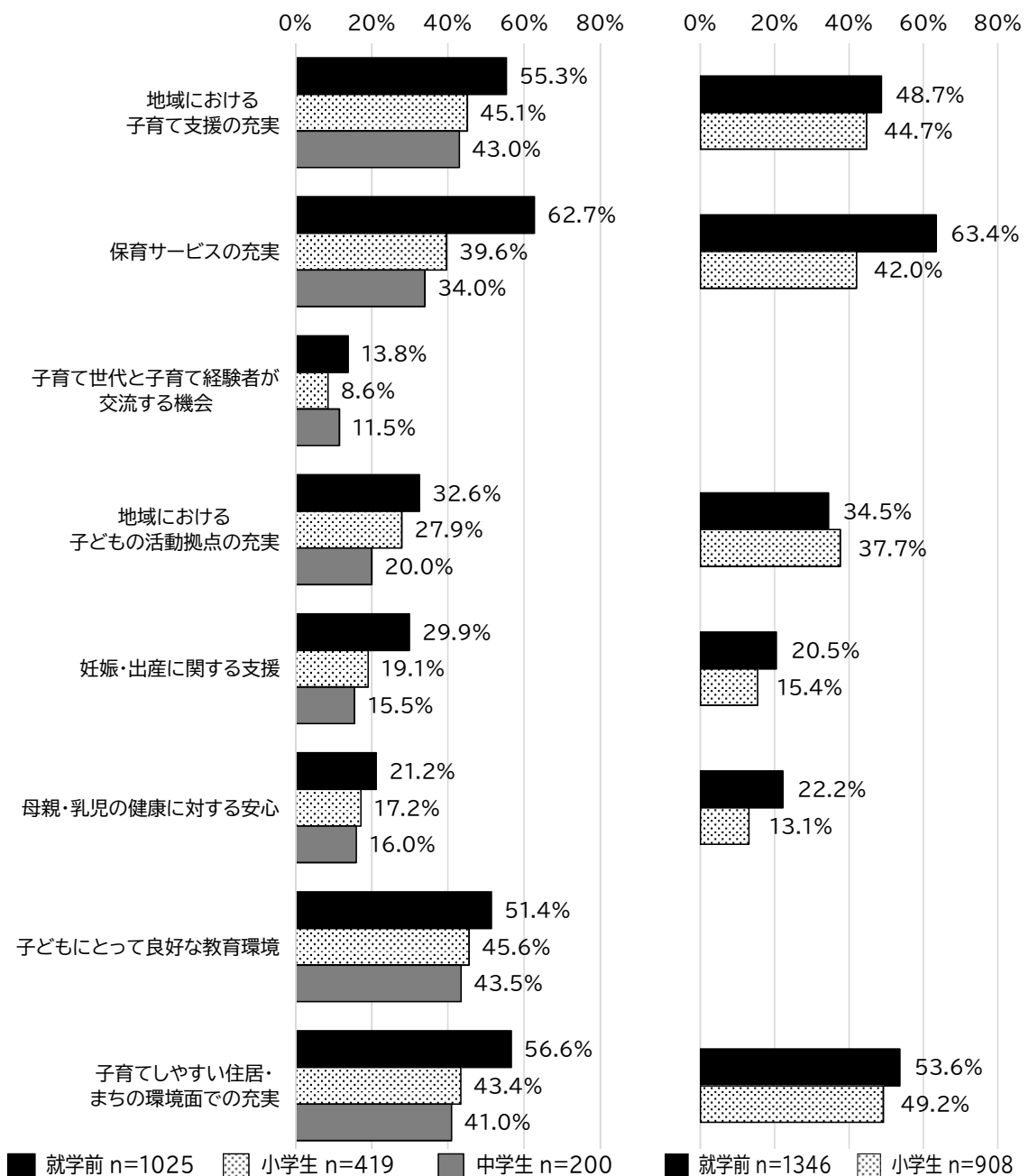
就学前保護者は「保育サービスの充実」が62.7%と最も多く、次いで「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が56.6%、「地域における子育て支援の充実」が55.3%、「子どもにとって良好な教育環境」が51.4%、「仕事と家庭生活の両立支援」が49.6%となっています。

小学生保護者は「子どもにとって良好な教育環境」が45.6%と最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」が45.1%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が43.4%、「仕事と家庭生活の両立支援」が42.2%、「保育サービスの充実」が39.6%となっています。

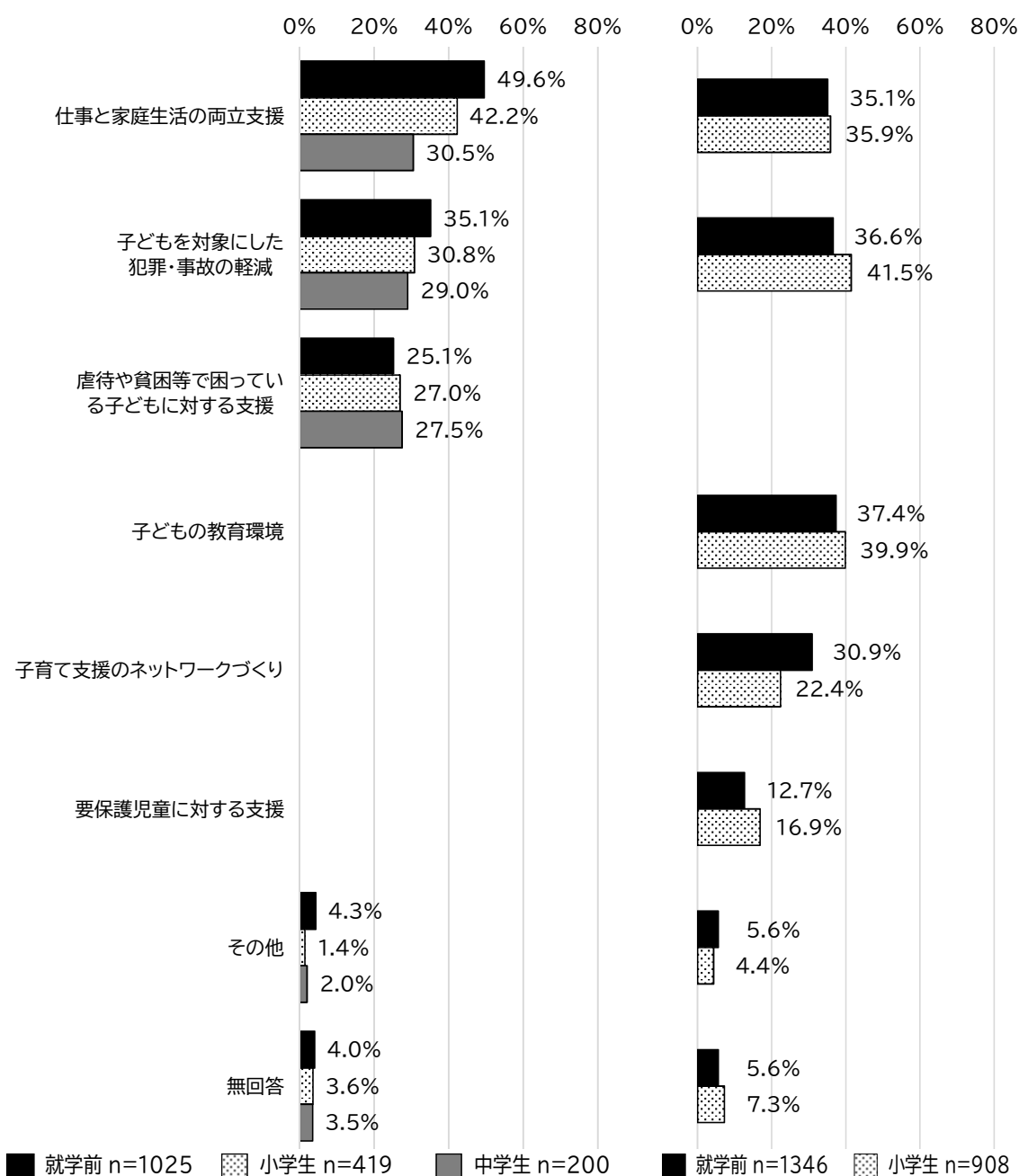
中学生保護者は「子どもにとって良好な教育環境」が43.5%と最も多く、次いで「地域における子育て支援の充実」が43.0%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が41.0%、「保育サービスの充実」が34.0%、「仕事と家庭生活の両立支援」が30.5%となっています。

【今回調査】

【前回調査】



※次のページへ続く



※前回調査では、中学生保護者はなし

※前回調査では、「子育て世代と子育て経験者が交流する機会」「子どもにとって良好な教育環境」「虐待や貧困等で困っている子どもに対する支援」の選択肢なし

※今回調査では、「子どもの教育環境」「子育て支援のネットワークづくり」「要保護児童に対する支援」の選択肢なし

(18)朝霞市が出産・子育てするのに適したまちであるかの評価

<就学前:問51、小中学生:問43>

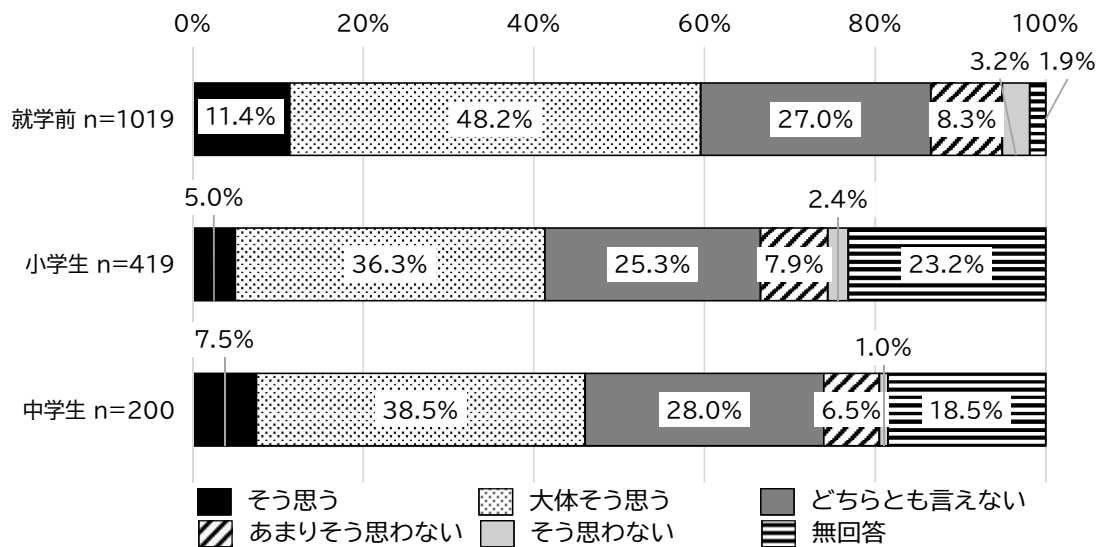
これまでの子育ての経験の中で、朝霞市は安心して出産・子育てをするのに適したまちだと思いますか。(単数回答)

就学前保護者は「大体そう思う」が48.2%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が27.0%、「そう思う」が11.4%、「あまりそう思わない」が8.3%、「そう思わない」が3.2%となっています。

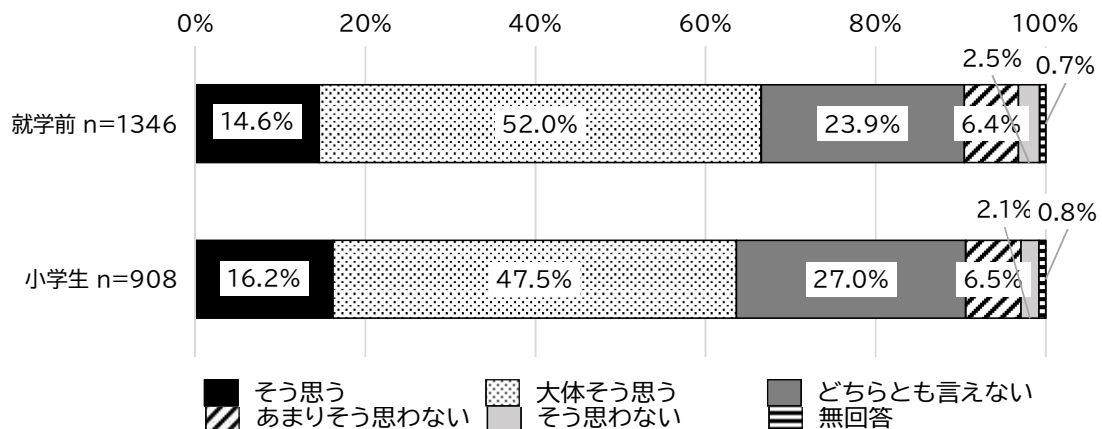
小学生保護者は「大体そう思う」が36.3%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が25.3%、「あまりそう思わない」が7.9%、「そう思う」が5.0%となっています。

中学生保護者は「大体そう思う」が38.5%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が28.0%、「そう思う」が7.5%、「あまりそう思わない」が6.5%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(19)居住地域における子育ての環境や支援への満足度

<就学前:問52、小中学生:問44>

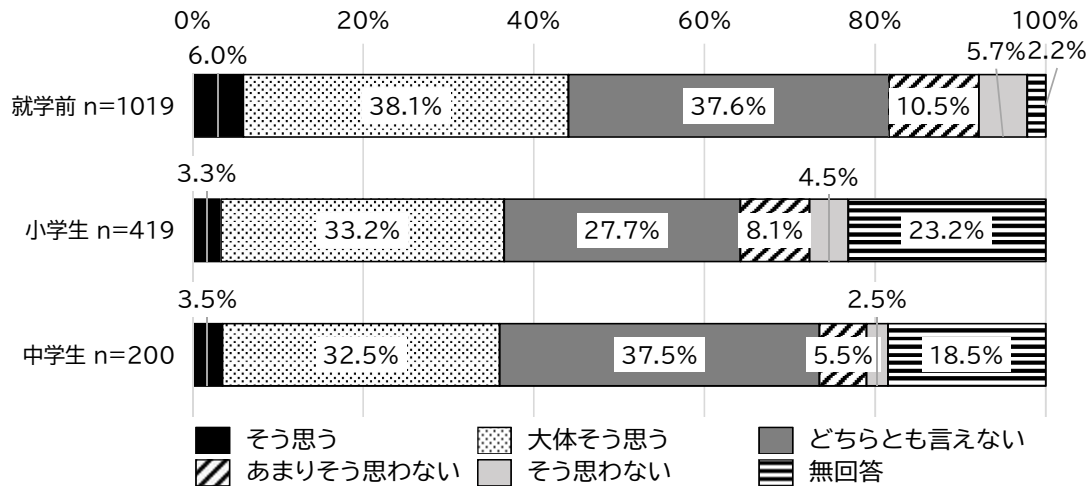
お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。(単数回答)

就学前保護者は「大体そう思う」が38.1%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が37.6%、「あまりそう
 思わない」が10.5%、「そう思う」が6.0%、「そう思わない」が5.7%となっています。

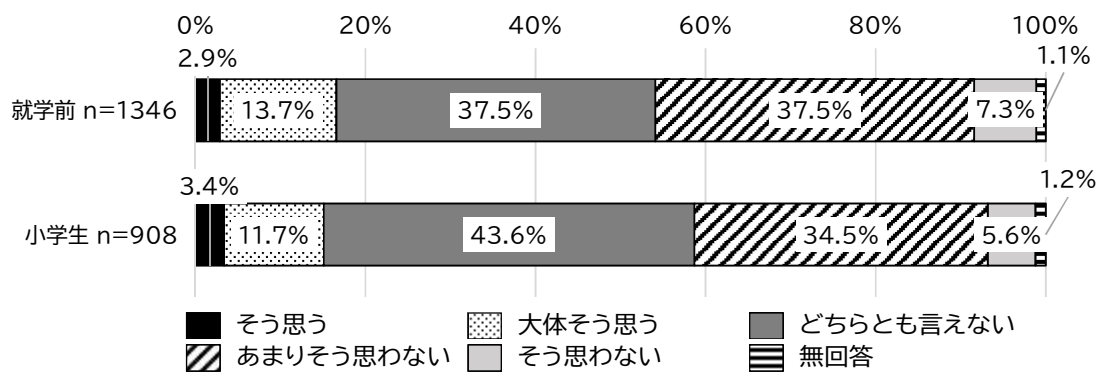
小学生保護者は「大体そう思う」が33.2%と最も多く、次いで「どちらとも言えない」が27.7%、「あまりそう
 思わない」が8.1%、「そう思わない」が4.5%となっています。

中学生保護者は「どちらとも言えない」が37.5%と最も多く、次いで「大体そう思う」が32.5%、「あまりそう
 思わない」が5.5%、「そう思う」が3.5%となっています。

【今回調査】



【前回調査】



※前回調査では、中学生保護者はなし

(20)有効だと感じる子育て支援・対策

<就学前:問53、小中学生:問45>

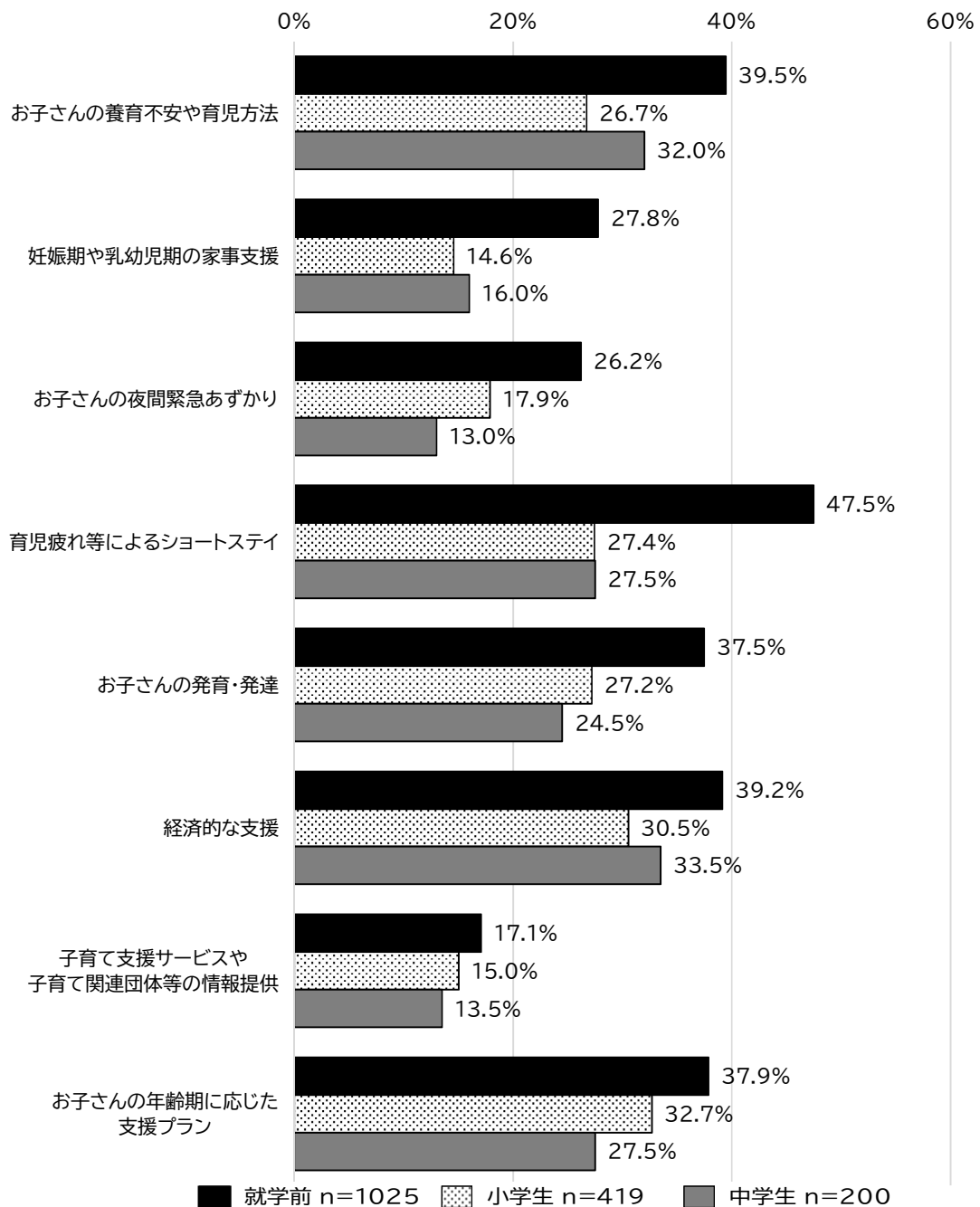
朝霞市においては、どのような子育て支援・対策が有効と感じていますか。(複数回答)

就学前保護者は「育児疲れ等によるショートステイ」が47.5%と最も多く、次いで「お子さんの養育不安や育児方法」が39.5%、「経済的な支援」が39.2%、「お子さんの年齢期に応じた支援プラン」が37.9%、「お子さんの発育・発達」が37.5%となっています。

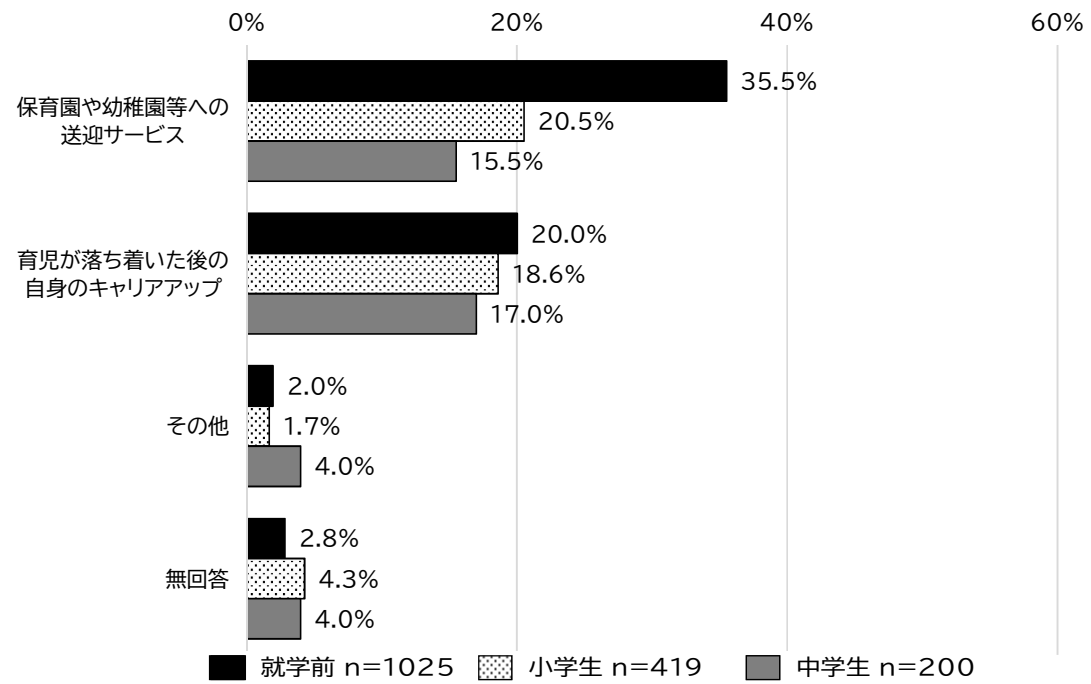
小学生保護者は「お子さんの年齢期に応じた支援プラン」が32.7%と最も多く、次いで「経済的な支援」が30.5%、「育児疲れ等によるショートステイ」が27.4%、「お子さんの養育不安や育児方法」が26.7%となっています。

中学生保護者は「経済的な支援」が33.5%と最も多く、次いで「お子さんの養育不安や育児方法」が32.0%、「育児疲れ等によるショートステイ」と「お子さんの年齢期に応じた支援プラン」が27.5%、「お子さんの発育・発達」が24.5%となっています。

【今回調査】



※次のページへ続く



※前回調査では、設問なし